



# OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

## W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日  
 事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階  
 TEL. (06) 6244-1008 FAX. (06) 6244-1010  
 WEB. <http://sembarotary.club> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp  
 例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111  
 会長 林 拓 幹事 山川良知 会報広報委員長 大島弥生



四つのテスト／言行はこれに照してから I. 真実かどうか II. みんなに公平か III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

### 第1506回 例会 2023年(令和5年)8月21日

(会員増強・新クラブ結成推進月間)

#### 本日のプログラム

(本日のプログレス 岡本 茂 副SAA)

- ロ-タリ-ソング 「奉仕の理想」
- 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告
- 職業奉仕卓話 天野 大樹 会員 竹内 弘 会員

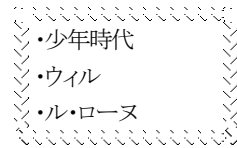
前回(8月7日)例会記録

◇プログレス 岡本 茂 副SAA

#### 1. 来客紹介 大島 弥生 親睦委員

ゲスト: 1名 地区外: 0名 地区内: 5名 合計 6名

ゲスト: 米山奨学生 ヴートウイユーン 様



#### 2. 8月お誕生月会員お祝い

伊藤 清一 会員 (8月9日)

野田 寿美子 会員 (8月14日)

林 拓 会員 (8月16日)

洪 理恵 会員 (8月24日)



#### 3. 会長の時間 「中国出張」林 拓 会長

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間ということで月間に相応しい行動をお願いいたします。

仕事の関係でどうしても中国へ出張することになりました。さてまずは VISA の準備です。現在は M ビザと呼ばれるビジネスビザのみが発給可能で通常の旅行ビザは発給されていません。申請には予約が必要で 30 日先まで埋まっており、申請が終わると5日ほどで発給されます。

世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD

最近になって私が仕事をする福建省廈門には廈門航空が毎日一往復就航しています。今まで手書きで提出していた健康申告書は電子申告になっており出発の48時間から出発までに終わらせておく方が良いです。到着するとまずこの申告書のQRコードを機械に読みとらせてゲートを通過して入国審査という流れで以前と全く変わらずスムーズに入国することが出来ました。

入国して驚いたことは緑色のナンバープレートをつけた車が多いこと。統計上の数値は確認してませんが、約3割以上が緑のプレートです。3年以上前からこのプレートはあるのですが、いわゆるEV、電気自動車に与えられるナンバープレートです。日本ではEVというとテスラーか日産というイメージがあることと思います。もちろんテスラーは日本のカローラくらい台数が走っています。もっと驚くことは見たことも聞いたこともない近未来カーのようなEVがそこら中を走っていることで、小さい軽自動車サイズのものからフェラーリのようなスポーツタイプ、SUVタイプとあらゆるEVが走っています。現地の人に確認したところ、政府の補助金もあって軽自動車程度のEVで約4~5万円、スポーツタイプのEVでも10数万円程度と言います。しかも充電スポットがこの数年で急激に増えて充電にあまり不便は感じないそうです。

自動車のEV化は間違いなく中国が一番進んでいると実感しました。

キャッシュレス化の浸透というカテゴリーでも中国は韓国に次いで早くに成功した国であることはご承知のことと思います。道端で野菜を売っているお婆さんでもQRコードをぶら下げているような浸透ぶりです。ある日にショッピングセンターで買い物している時に何やら機械に顔を向けてる人がいるけど、あれは何をしているの？と地元の人に聞いたところ、当たり前のように支払いだよ、と言われまた驚きました。以前から乗り物のチケットが顔認証になったりしているのは知ってましたが、まさかのスーパーでの買い物まで顔認証とは驚きでしかありません。中国デジタル化社会のスピードに驚かされるばかりです。このような社会になったのは中国の田舎方面まで一気に5G回線が普及したことに起因していると思われます。2025年には6G社会になるそうです。

最後になりますが、商談はやはり対面でない伝わらないことがどれだけ多いか今回の出張でつくづく思い知らされました。早くもっと以前のように世界を自由に移動してビジネスができる社会に戻って欲しいと思います。

#### 4. 米山奨学金授与



会会長より、米山奨学生のグートウイユンさんへ奨学金が授与されました。その後、簡単に近況報告をしていただきました。

#### 5. ニコニコ報告 坂本 田鶴子 親睦委員

大阪RC 春次賢太郎様・・・澤田先生 本日は卓話ありがとうございます。

澤田 会員・・・本日の卓話 帰国報告宜しく願い致します。

塩尻 会員・・・少々ひどい夏風邪をひいてしまいました。おかげ様で回復しております。(非コロナです)

岡本(真) 会員・・・大久保さん 土曜日は大変お世話になりました。初めてプロとのラウンドで、ゴルフを始めて2年で何とか100切りを達成できました。

大久保 会員・・・岡本真太郎さん、初の90台は圧巻でした。しかもバックティからは流石でした。

篠藤、野田、新川、坂本、井澤、清水、中井、岩崎、天野、大島、片岡、北野、平山、竹内、中嶋、山川、小山、俣野、原山、中村、林、藤井、大嶋、岡野、宮原、中西、洪、甚田、

各会員・・・8月は、会員増強・新クラブ結成推進月間です！

伊藤、野田、林、洪、各会員・・・8月誕生月

中村、岡野、澤田、各会員・・・8月創立記念日

#### 6. 出席報告 岡本 茂 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 37名 出席会員数 37名(オンライン2名) 出席率 97%

第1502回(7月10日) 修正出席率 97%

## 7. 卓話 「帰国報告」 澤田 宗久 会員 〔バヌアツ共和国・ペンテコスト島 2023年7月11日～7月19日〕

COVID-19により中止されていたバヌアツでの活動が3年振りに再開された。この3年間のうちに大統領が変わり、保健省の体制が大きく変更された。我々が活動しているペンテコスト島はパナマ州に属しており、長らく設置されていなかったパナマ州保健管理官に、マクソン氏が就任し、我々の活動地域であるペンテコスト島を管轄する事となった。

また、長年JDMの担当をしていた保健省ラッセル氏が急病のため退職し、急遽バヌアツ政府との連絡が数ヶ月途絶えた。過去にJDMと関わった別の政府関係者に接触を試みるも、3月のサイクロンの影響により政府のEメールシステムがダウンし、電話も繋がりにくくなった。

このため、バヌアツ在住、いつもJDMの活動に協力して頂いているメラネシアンホテルの土山氏に協力を依頼し、直接保健省に足を運んでもらい、ラッセル氏の後任Dr.ローダと連絡を取ることができた。



(左から)  
小西 あゆみ(DH) 菊島 優香(DH)  
関根 龍勢(Vo) 関根 淳(Dr)  
佐々木 正志(DT) 澤田 宗久(Dr) ローダ ブルー(Dr) 土井 一輝(Vo)

### 7月12日(水)

11日、関西、関東出発チームが成田空港で合流しフィジーへ。今回飛行機に持ち込み可能な荷物を超えたコンテナは事前にバヌアツに送っていたため、大きな混乱は無くスムーズにチェックイン出来た。しかし、バヌアツに送った荷物に関しては医薬品の輸入ルールが厳格化されており、未だDHLの倉庫から受け取ることが出来ていないことが判明した。また、手荷物で持っていくコンテナの中の薬品も、許可がないとポートビラの空港から出せなくなる事が判明した。



フィジーのナンディ国際空港にてオークランドから参加の菊島さんと合流、ポートビラに12日午後4時ごろ到着し、活動が始まった。Dr.ローダとは何ヶ月も前から免税書類作成の依頼をし、書類を提出していたが、当日ギリギリで医薬品持ち込みの許可が出て全ての荷物を受け取る事が出来た。

後に、バヌアツではボランティアの受け入れビザや許可証を発行する担当者が1名しかおらず、災害のたびに救援国の海軍やボランティアのビザや許可証が間に合わなくなる事が分かった。

空港にてDr.ローダと合流し、メラネシアンホテルへ。夕食を食べながらミーティングとなった。

### 7月13日(木)



早朝飛行場にてDr.ローダ、ローリー氏とミーティング。既にペンテコスト島に迎えが来ているとのこと。政府としてオーラルヘルスプロモーションに最も注力しているため今回は小学校2校の検診と歯磨き指導を依頼されたが将来的には学校を増やしたいとの事。その後ペンテコスト島へ。この日は暴風雨で悪天候のため、パイロットから3名降りる様にリクエストされた。しかし、次の便は土曜日まで無い。保健省職員ローリー氏、Dr.ローダと空港職員の交渉の結果、メンバー全員ペンテコスト島へ行けることになったが、重量を減らすために荷物は載せれないとの事。既に出発時刻を大幅に過ぎ、ファイナルボーディングコールが過ぎていたため、慌ただしくメンバー全員で出発した。ペンテコスト島到着後、荷物を確認すると、JDMのコンテナ、個人のスーツケースを含め全てポートビラ空港に置いて来られてしまった。これでは活動できないため、

ローリー氏、Dr ローダ、土山氏に協力を要請し、急遽小型機をチャーターし、荷物を送り届けてもらうことになった。しかし、前大統領がペンテコスト島出身のため、中国とペンテコスト島 1 周の道路を建設する契約をしており、チャーター機が中国道路建設職員達に押さえられており、なかなか見つからない。土山氏が奔走し、1 番早く飛べる小型機エアタクシーとパイロットを確保し、なんとかその日の午後荷物が届くように手配してくれた。

ペンテコスト島に着いた我々は、荷物が無いままパンギ村へと向かった。3 年前に残してきた保険センターのゲストハウスにあるコンテナを確認し、診療所準備に取り掛かった。懸念していた発電機は何度もハリケーンや地震の災害があったにも関わらず、村人たちが守っていてくれた。しかし、変圧器や電源コードなど細かいもの数点が無くなっていった。

今後の予定を確認するために、保険センター助産師とミーティング、2校学校検診予定だったが、残念ながらパンギ小学校は今週休校のため、ラングスクスク小学校の学校検診と文化交流を行う事となった。物資の寄付は2校。

午後、土山氏の手配したエアタクシーにて全ての荷物がロロノ空港に届いたが、DH 小西のスーツケースが似たデザインのオーストラリア人の物と入れ替わっていた。届いた荷物を空港からパンギ村の教会に運び、往診用ユニット、変圧器などを接続し、夕方治療の準備が出来た。

保険センター職員グラハム氏のう蝕治療、義歯印象などを行い、1 日目の活動終了となった。

## 7月14日(金)

ラングスクスク小学校が8時からとの事で、時間を無駄にしないために早朝から食事を済ませ、小学校へ。歓迎のセレモニーを受け、歯ブラシ、筆記用具、サッカーボールなどを寄付、その後歯磨き指導を行なった。折紙や切り絵などの文化交流をしながら、幼稚園、小学生 109 人の歯科検診を行う。昼前に全てのプログラムを終了し、パンギ村へ戻った。



昼食後は教会にて診療。3 年間歯科治療を待ち望んだ村民で、終了時間が過ぎ暗くなってからも教会は患者で溢れ返っていた。バヌアツでは街灯がなく、家がジャングルの中にあるため、暗くなると人々は自然と家に帰るのだが、今日は違った。



## 7月15日(土)

朝から診療。

昼休憩時に保険センターへ。以前から理事会でオートクレーブの導入を求める声が上がっていたため、保管場所の調査へ。雨風を凌げる場所はワクチン用の冷蔵庫や医薬品の保管場所スペースがない。薪で炊くタイプの鍋型オートクレーブがあり、人手と雨天でなければ使用可能か。しかし、保険センター敷地内の丘の上に新たにクリニックの建築が始まっており、完成すれば我々の活動場所も教会ではなく、クリニックになり、オートクレーブも置けるようになるかもしれないとの事。経過を見守りたい。午後夕方まで診療し、予定時間に終了となった。





## 7月16日(日)

午前、撤収作業へ。教会を綺麗に掃除し、ペンテコスト島に置いて行くものを丁寧に梱包し、村人と協力して保健センターのゲストハウスに戻した。

日曜日は小さな店や食堂も閉まり、村は完全にオフの状態。

パンギ小学校が休みのため、校長が来院し、歯ブラシ、筆記用具、タオル、サッカーボール等の寄付を行なった。

空港への帰路、ラングスクスク小学校に立ち寄り、バヌアツの子供達の作った切り絵を受け取った。細かい貼り絵となっており、心温まるメッセージがフランス語で書かれていた。

暴風、豪雨、虹、晴天が1時間おきに繰り返すような天候のため、早めにロロノ空港へ。付近の滝を散策したり、各々自由に過ごしたが、チャーターした飛行機は予定より20分程度早めにやってきた。暴風雨の中、ロシア人パイロットの操縦は丁寧で無事ポートビラに戻り、政府の用意したバスでメラネシアンホテルに到着、数日ぶりの温水のシャワーで疲れを流し、皆で夕食を食べ、就寝した。



## 7月17日(月)



午後の飛行機まで時間があるため、午前は自由行動。空港はコロナ前に比べ、キャパ以上の旅客を収容し、人で溢れていた。飛行機の遅延が常態化していたが、無事フィジー便に乗り、日本への帰路に着いた。

今回、小学4年生と高校3年生のボランティアが参加した。2人とも掃除やカルテの記入、片付けや文化交流などの活動を精一杯手伝ってくれた。小学生の龍勢は歯科治療に興味を持った様で、日本に戻ってから親のクリニックで何か手伝える事はないか、自分から動くようになった。一輝は本当の自分の価値に気づき、学校生活に戻り、受験勉強を頑張っている。

高校3年の夏という貴重な時間は無駄にならなかったようだ。



### 感想文

土井 一樹 (ボランティア)

僕は、高校2年生になってから本格的に学校の勉強についていけなくなり、それが元で、色んな悩み事が増え、耐えきれなくなり、ついに学校も定期的にサボる様になってしまいました。精神状態ももちろん良くなく、これを見かねた母が僕をまず、脳の精密検査に連れて行って異常がないのを確認してから、僕を知り合いの澤田先生にバヌアツに連れて行くように進めたのです。僕は最初は大した意思も望みも無く、最初はついて行くだけでした。日本から離れて今まで行ったことのない国に行って、どんどん新鮮な体験をするうちに徐々に本来の自分に帰って行くのを感じました。母親もそうだけど、この旅に連れて行ってくれたみんなの心配と熱意に自分は動かされた気がします。僕が行ったバヌアツのペンテコスト島は一般的な観光客が減多にいけない場所でした。あれはボランティアだからいけたのです。あそこに行って得たものの中でなにが一番大きいかというと、自分の気持ちより正確に読んで、その通りにする行動力がついたことだと思います。何故かわからないけど自信もついたり、人に話す時も声を張りやすくなりました。

同好会に参加してきました！

## 「ウクレレ同好会」

会報・広報委員長 大島弥生

2023年8月7日、ウクレレ同好会に参加してきました。

現在、同好会メンバーは8名、その内ミキミュージックサロンでレッスンしているメンバーは7名です。  
レッスン風景は？と言うと、和気あいあいと！、そして皆マイペースに、先生一人走り回っている感じの1時間です。  
同好会メンバーは、70歳の小島さん、ベテラン組の清水さん、宮原さん、新川さん、そして初心者ひよこ組の  
洪さん、岡本茂さん、篠遠さん、そして私です。皆様には、以前、強制的に私たちの演奏をお聞きいただいているので、  
レベルの程はご存じかと思いますが、皆、クリスマスに向けて必死で自己練習に励んでいます。  
次回の発表をお楽しみに！



ウクレレは、4弦のハワイの楽器です。大きさはいろいろありますが、どれも同じ音域です。  
そして、楽譜も少し変わっていて、五線譜が読めない方でも大丈夫！どの弦でどの場所を押さえるかの表記です。  
コードがいろいろありますが、それも弦を押さえるところがわかれば弾くことができます。  
メンバーの中でも、メロディを引くのが得意な人と、コードでジャンジャカ、ジャンジャカと伴奏をするのが得意な人  
などいろいろです。

ウクレレやってみたい方、またお家にウクレレを眠らせている人、毎週レッスンは無理だけど、クリスマスの前の  
練習参加してみたいという方は、是非ウクレレ同好会へお越しください。



「皆で仲良く！楽しく！」当クラブには他にもたくさんの同好会があります。皆様もいろいろな同好会に顔を出して  
みてください。

### 8月度理事会報告

令和5年8月7日(月) 於:ホテル日航大阪 13:40~14:40

#### 【承認事項】

- 1、8月度会計報告 承認
- 2、前期米山普通寄付金支払 承認
- 3、前期 RI 人頭分担金支払 承認
- 4、事務局夏季休暇承認
- 5、2025年規定審議会 制定案募集の件 提出はなし 承認
- 6、入会希望者について(盆子原稔博様) 承認

☆次回8月28日(月)例会予定

・委員会卓話:会員増強

・事前懇談会 6階「橘の間」11:50~12:20 / クラブ協議会 4階「蘭の間」13:40~15:40